

第3回 国有林モニターアンケート

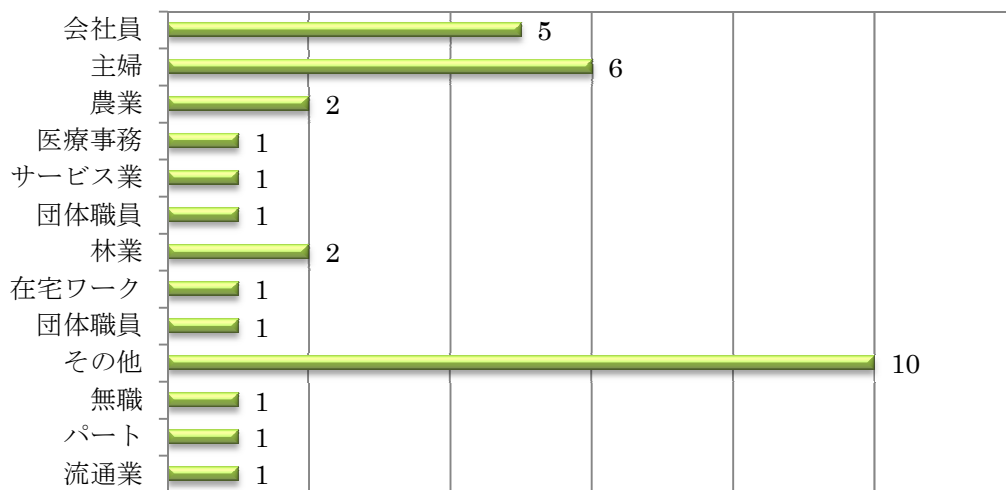
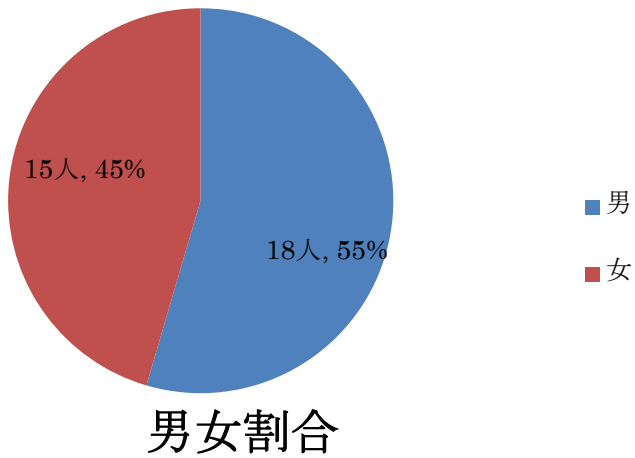
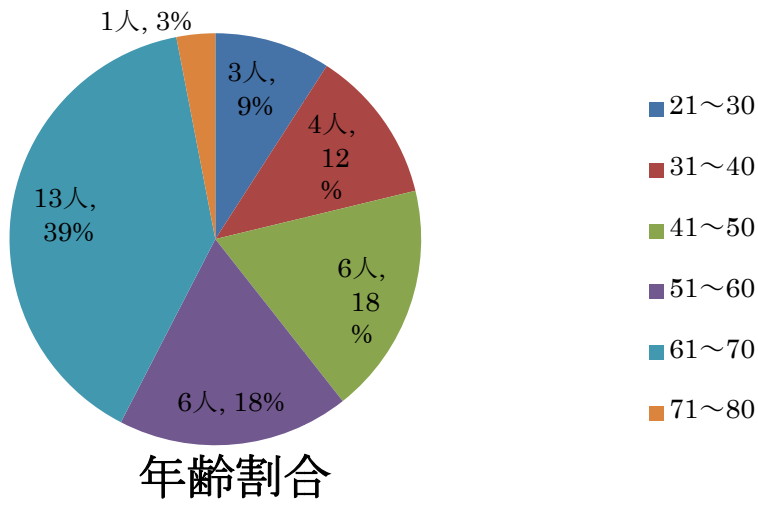
結果概要

国有林モニター制度は、より多くの国民の皆様身近な存在として国有林を感じていただけるよう、広く一般の方からモニターを募り、国有林野事業についての理解を深めていただくと同時に、国有林野事業についての幅広いご意見等をいただき、これらのご意見を管理経営に役立てることで、「国民の森林」にふさわしい管理経営を行うことを目的としています。

今回、第3回国有林モニターアンケートを実施し、モニター35名中33名の方からご回答をいただきましたので、その結果について報告します。

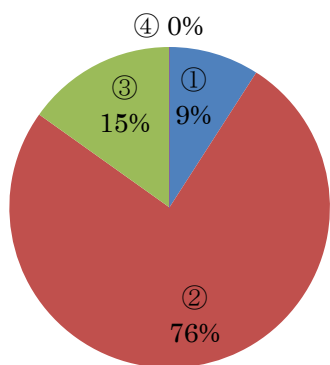
平成27年 8月

国有林モニターアンケート回答者基本情報



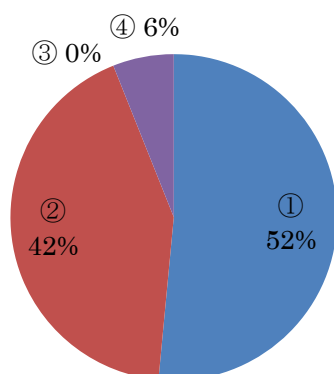
森林・林業再生への貢献に係る取組について

問1 中部森林管理局では、伐採量と丸太の生産量・販売量を年々増やし国産材の安定供給に取り組んでいることや、丸太生産コストの低減を図るため作業技術の向上等の現地検討会等に取り組んでいることについてお聞きします。次の中から選んで下さい。



① 国有林モニターになる以前から知っていた	3人
② 国有林モニターになってから知った	25人
③ 今回のアンケートではじめて知った	5人
④ わからない	0人

問2 問1のような取組みについてお聞きします。次の中から選ぶとともにご意見等あればお書き下さい。

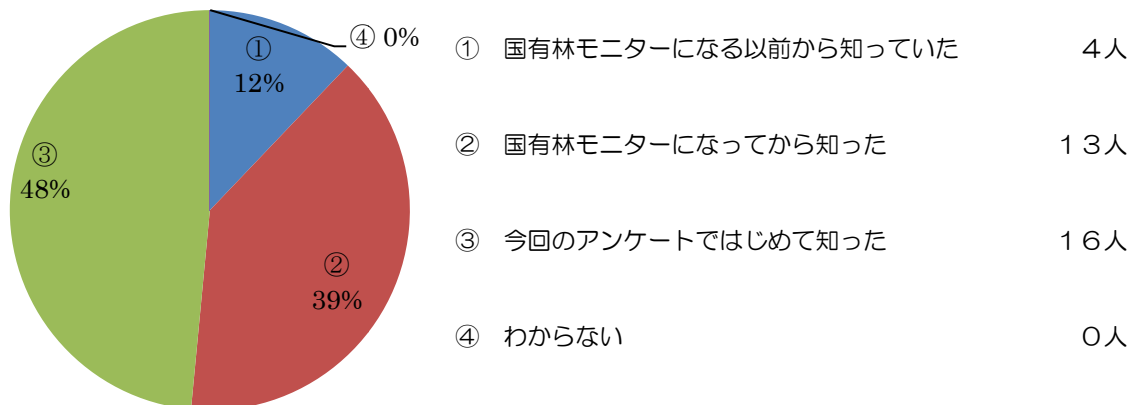


① 評価できる	17人
② ある程度評価できる	14人
③ 評価できない	0人
④ わからない	2人

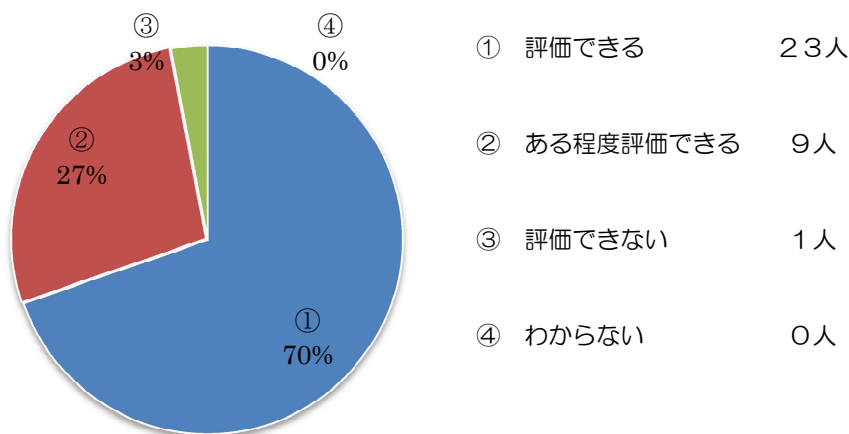
その他意見等（一部抜粋）

- ・ 国産材の安心感は何ものにも替え難い。品質の面でも大いに期待が出来る事からブランド（国産）としてアピールすべきである。
- ・ 「問1」の取組みはとても大事でかつ必要だと思います。森林面積の多い我が国を上げて取り組むべき課題と考える。
- ・ 川下側の参加を増やすべきである。川上の努力をまだ川下は周知できていない。
- ・ 建築用木材は過剰と思われます。増産の必要があるだろうか。
- ・ 一戸建住宅はもちろん都心部の集合住宅、公共性建造物により国内の木材を利用するPR広報活動がまだ不足している。
- ・ 国産材は高いというイメージが強い。作業技術の向上とともに普及宣伝を広く行うためには、対象が限られる現地検討会より多数の人にアピールできる対策も考えるといいいのではないかと。

問3 国内で製造される合板（ベニヤ）は平成15年では外国産材の使用割合が93%を占めていましたが、加工技術の革新とともに、合板工場へのスギ、カラマツ等の間伐材の安定的な供給に努めた結果、年々国産材の使用割合が高まり、平成25年には国産材の使用割合が72%を占めるまでになりました。こうした状況についてお聞きします。次の中からお選び下さい。



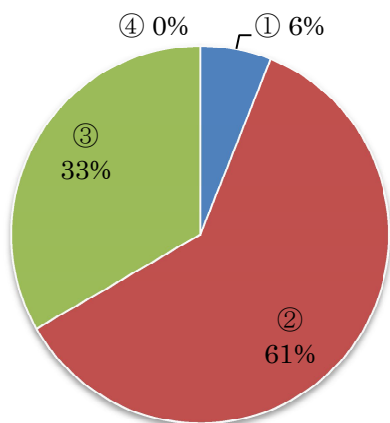
問4 問3のような国産材の合板用丸太として安定的に供給する取組についてお聞きします。次の中から選ぶとともにご意見等あればお書き下さい。



その他意見等（一部抜粋）

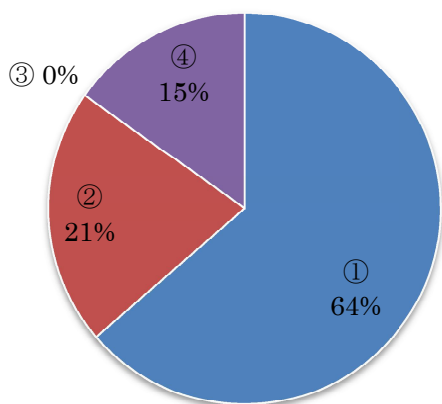
- ・ 国産材の活用の面からも使用割合の増える事は大変好ましい事だと思う。
- ・ 信州唐松材を使った合板をPRしていましたが、唐松材そのものの性質を考えて使い方があると思います。確かに単材と合板の壁の評価は違いますが。床材としても。
- ・ 木材のカスケード利用に移行を検討すべきである。（A材以下全てを合板用丸太としている現状から価値ある材の利用に移行すべきである。山の利益が上がる為）
- ・ 日本の加工技術の進歩は著しいものであり、林野庁を中心に用途開発をお願いしたい。
- ・ 外国産材に頼るのではなく、国内で再生産できる資源として活用することは地球規模で環境を守る意味で大切なことと考える。
- ・ 温暖化対策としても公共建物、一般住宅に効果的に提供して欲しい。
- ・ 間伐材の活用100%を目指して合板（ベニヤ）の国産材の使用割合も高めていってほしい。

問5 中部森林管理局では、地域において、間伐などの森林施業や流通のコスト低減等を図るため、隣接する民有林所有者等と森林共同施業団地の協定を締結し、効率的な森林経営（管理）に取り組んでいます。この取り組みについてお聞きします。次の中からお選び下さい。



① 国有林モニターになる以前から知っていた	2人
② 国有林モニターになってから知った	20人
③ 今回のアンケートではじめて知った	11人
④ わからない	0人

問6 問5のような取り組みについてお聞きします。次の中から選ぶとともにご意見等あればお書き下さい。

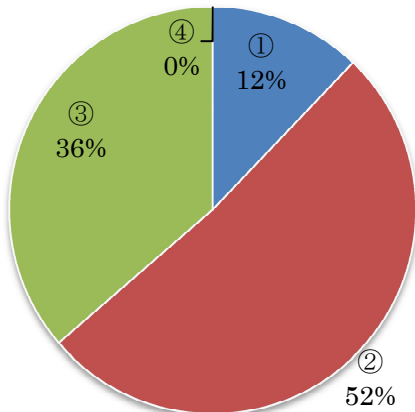


① 評価できる	21人
② ある程度評価できる	7人
③ 評価できない	0人
④ わからない	5人

その他意見等（一部抜粋）

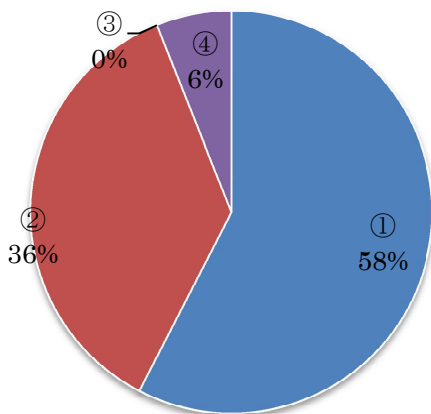
- ・ 最寄りにそういう取り組みを見ていないので評価できる形になっているかわからない。本当に効果があるのか。民有林は取り組みできる状況なのか。
- ・ 針葉樹林だけでなく民間広葉樹林も入れた計画伐採も検討できないか。
- ・ 効率的に森林を管理していくようこれからも計画的に問5のような取組を行ってほしいです。
- ・ 林道敷設等のコストの問題で山林の活用を躊躇してみえる民有林所有者の方が多いことから官民一体での有効活用が望まれる。
- ・ 間伐は、山全体で行ってはじめて効果が高まる。所有者の承諾が不可欠であるが無料ではできない。協定等を結んで、誰かが先頭に立って森林を守っていく取組は評価できる。

問7 中部森林管理局では、国有林のフィールドや技術力を活用し、市町村の森林・林業行政を支援できる人材（森林総合監理士（フォレスター））の育成に取り組んでいます。この取組についてお聞きします。次の中からお選び下さい。



① 国有林モニターになる以前から知っていた	4人
② 国有林モニターになってから知った	17人
③ 今回のアンケートではじめて知った	12人
④ わからない	0人

問8 問7のような取組についてお聞きします。次の中から選ぶとともにご意見等あればお書きください。



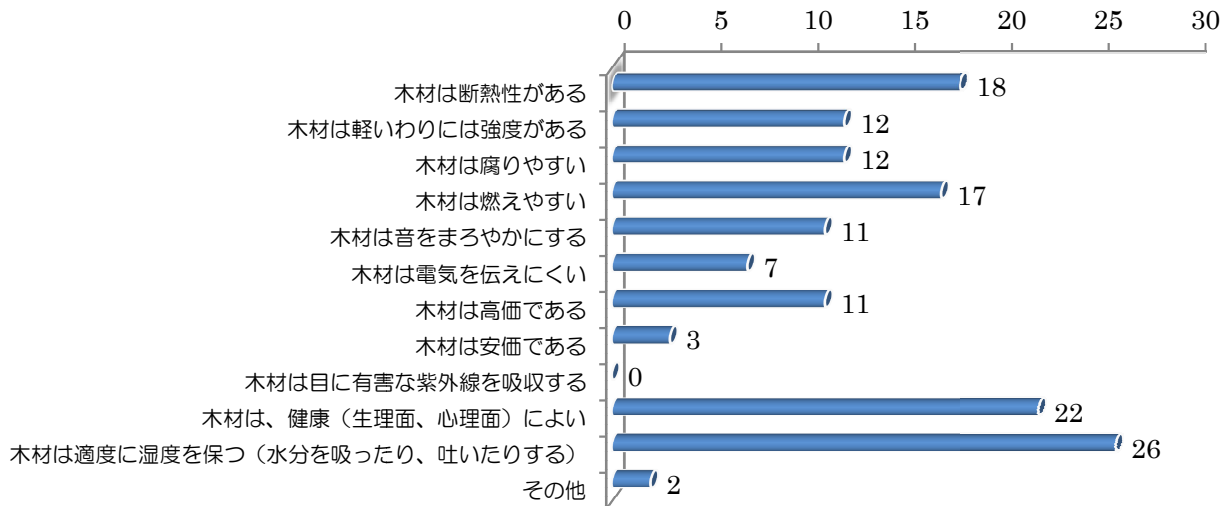
① 評価できる	19人
② ある程度評価できる	12人
③ 評価できない	0人
④ わからない	2人

その他意見等（一部抜粋）

- ・ 人材育成はもちろん、外部にアピールしてもらうことが国民の意識を関心を高める一歩になると考える。
- ・ 市町村の支援は評価するが市町村側の具体的な人材育成が住民として感じられないのが残念である。
- ・ 林業はなかなか人材を確保する事が難しいと聞くのでこうした取組は良いと思う。
- ・ 海外のフォレスター等との協同も行ってはどうか。広い知見を身に付けることも必要になってくると思います。
- ・ このような取り組みを一般の人にはどのように周知して見えますか。モニターになる前は全く知りませんでした。新聞・TV等で広報されているのでしょうか。
- ・ 林業の活性化が地域の活性化につながります。若手人材の育成は雇用促進の意味からも期待できます。
- ・ フォレスターを育成させる為、中高生など将来のために現場見学研修などの対策が必要。

木材利用の推進について

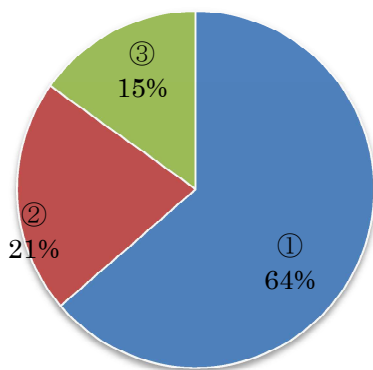
問9 国有林モニターの皆様の木材の性質に対する印象についてお聞きします。次の中から選んでください。（複数回答可）



その他意見等（一部抜粋）

- ・ 木材は乾燥収縮する。段々黒味がかかっていく。木材は良い香りがする。
- ・ 木材は、日本式住宅や建物に利用することにより、さわやかさや自然の優しさを感じ風土にマッチしている。
- ・ 木材はコンクリート建材と比べて強度や耐火に弱いと思っていたが製品開発で遜色ないものもあると知って驚いた。
- ・ イメージより理化学的数値を示した方が良い。木材は燃えやすい、腐れ易いは比較対象によっては優れているからです。

問10 最近、身の回りで木材を積極的に利用されることが増えていると思いますか。また、増えていると思うと回答された方は、印象に残った利用方法についてお聞きします。



① 増えていると思う 21人

② 増えていると思わない 7人

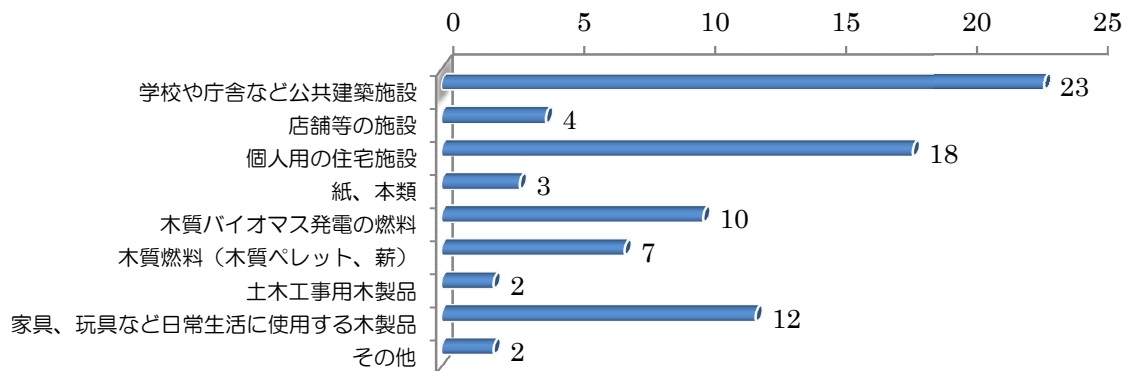
③ わからない 5人

【印象に残った木材の利用方法（①で増えていると回答された方）】

- ・ 個人住宅で増えている。
- ・ 鉄、コンクリート製だったものが木材にもどっている。

- ・ 増えているのではなく無駄に使用しているから増えている様に感じるだけだと思う。
- ・ 学校等の改築、新築時に木材が多く使用されている。
- ・ 公園等のベンチ。土木工事の際一般の人に知らせるための案内板
- ・ 薪ストーブ
- ・ おもちゃ

問 11 今後、どのような分野で木材が積極的に利用されると良いかお聞きします。次の中から2つ選んで下さい。

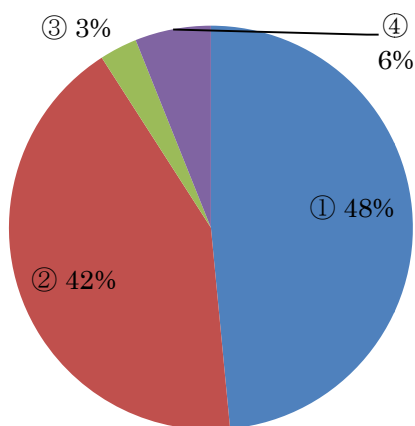


その他（具体的提案）（一部抜粋）

- ・ 公園の木製遊具
- ・ 公的キャンプ場、公園の遊具（数年で新品にする）、公的バーベキュー場、道の駅、海の駅の施設、足場施設、日曜大工教室、学校の技術科の授業の材料等
- ・ 絶対に虫が食わない木材の開発が可能になれば、一般市民の住宅も木造が増えると思う。

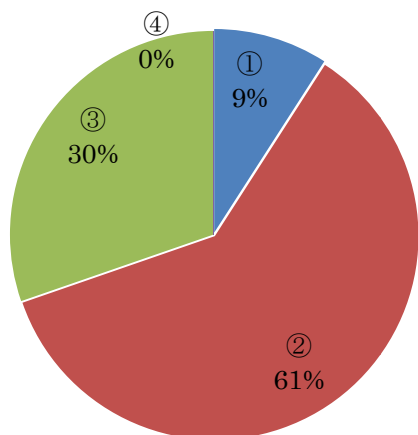
技術開発について

問 12 中部森林管理局では、効率的・省力的な林業経営や森林整備・保全に関する技術・手法の普及を念頭に、伐採と造林の一貫作業による効率化などを実証・実践する技術開発に取り組んでいますが、このような取組を知っていましたか。次の中からお選び下さい。



① 国有林モニターになる以前から知っていた	3人
② 国有林モニターになってから知った	20人
③ 今回のアンケートではじめて知った	10人
④ わからない	0人

問 13 問 12 のような取組についてお聞きします。次の中から選ぶとともにご意見等あればお書きください。



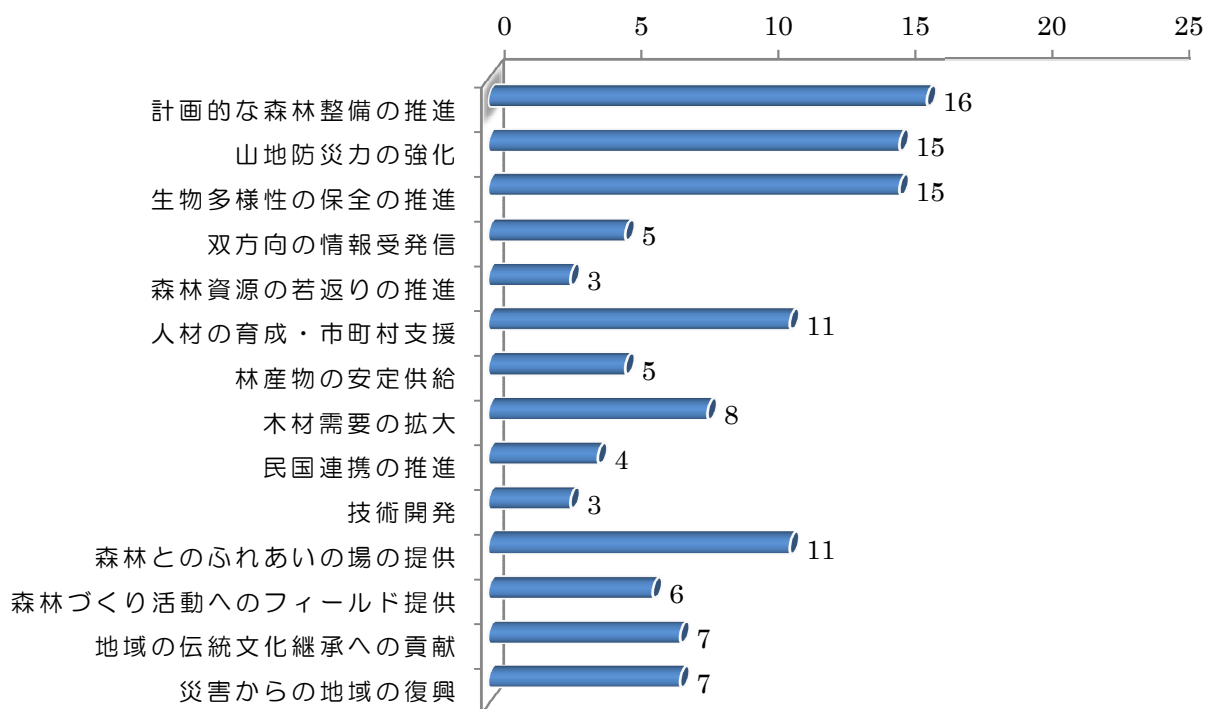
① 評価できる	16人
② ある程度評価できる	14人
③ 評価できない	1人
④ わからない	2人

その他意見等（一部抜粋）

- ・ 保全に関する技術は地域住民が特に期待しているので力を入れてほしい。
- ・ 海外の取り組みも積極的に取り入れるべきではないか。全てをmade in,made by japanにする時間とコストはないのではないかな？
- ・ 地域の企業など連携し森林育成、整備をもっと広げて欲しい。
- ・ お役所仕事は、この項目は〇〇課などと分かれて何重にも分担されるから仕事の効率が悪くなるというイメージがあるので、一貫作業は効率が上がっていいと思う。もっと推進すべき。

平成27年度事業概要について

問 14 関心のある取組。（複数回答可）



理由（一部抜粋）

- ・テレビ等で地球温暖化防止の取り組みが報道された。
- ・シカ、イノシシ等による高山植物の食害が問題になってきていることに危機感を持っている。
- ・最近、災害が多くそれに伴う安全、安心で災害に強い森林作りへの対策に関心がある。
- ・森林整備は必要不可欠の事だから。

問 16 事業概要で改善すべき点、ご感想等。

- ・人材の育成・市町村支援について、「大学や研究機関と連携し・・・」とありますが、具体的な取り組みが見えてこないことからその計画が進んでいるか報告すべきである。
- ・山地防災で治山事業に大いに期待している。
- ・PRが強く地道な成果に対する内部評価（10～20年前の山（森）がこうなってきたというような。）を知りたい。
- ・森林が吸収してしまった放射性物質の研究について発表すべきである。将来使えるか使えないか森林総研の研究を発表してほしい。
- ・一般の人達に林業についてもっとPRに力を入れてはどうか。
- ・レクリエーションの利用促進（自然休養林や風景林などをアピール）を図るべきである。
- ・知らないことが多く知りたくなります。
- ・国有林野事業について民有林との連携に積極的に取り組み、計画的かつ効率的な実行に期待する
- ・小学生、大人でも理解できるよう、まずは、広報で広く国民に事業を理解してもらう必要がある。
- ・林業に関心を持って貰うため、特に都市部の人や林業以外の職業の人について、こうした取り組みをどう伝えるのか、また、どの程度伝わったのかが課題である。
- ・人材の育成はフォレスターばかりではなく幅広く幼児、小学生～中学生等将来に向けての育成も考慮すべきである。
- ・やりたいことを充分に実施するには、人材の確保、予算の確保、事業に対する広い理解が必要だと思いました。
- ・頂く資料の文章がわかりにくいです。資料内容が重複しているのもあり、本当に広報したいことを万人がわかるよう厳選して伝える事が必要である。

その他意見・要望

問 17 その他、「国有林」や「国有林野の管理経営」などについての意見・要望。

（一部抜粋）

- ・事業概要は見やすく分かり易く、モニターになりいろんな分野の取り組みについて勉強になったが、イベントに参加出来ないのが残念である。

H27白書で木材需要が平成20年以前の水準に達していないことから国産材を日

本ブランドとして海外に売り出すアピールが必要である。

災害の多い日本、森林の役割の大きさに改めて実感したがもっと情報発信を期待する。

- ・ 自分の山を有効活用したいが良い方法がないか知りたい。
- ・ 御嶽山、浅間山、白根山等の火山災害対策の継続と全国植樹祭が来春信州で天皇皇后陛下をお迎えして開催されるため大いにPRしてほしい。
- ・ モニターになってシカの被害の現状を見て管理局の取組に改めて関心を持たないように感じる。
- ・ モニターをやってびっくりしていることは、1月に2、3回のPR誌が来ることや意見や質問をアンケートに書いてもどうなったのか分からない。果たしてアンケートは読まれているのかなと思う。

モニターに希望したのは、私の個人の山を含めなげかわしい山の打開策が必要と思ったからで道路に倒れかけた風倒木を道路サイドで切らせる実態とか。恰好良いことを言うが手の回らない森林管理がある。

世界の中で一番緑に囲まれた国でありながら森林管理がなおざりにされている事実や木材（日本材、国産材）は高いという実態は耐用年数25～30年という家にある。イギリスは80～90年というのに。

取り組みはポーズでなく課題に真正面から。今私は獣対策で3kmの電気柵をもっているが今の所全く出て来ていない。貴局はお金と人材とで取り組んでいるが効果はどうですか？

- ・ 国有林と川下をダイレクトに結ぶ（システムより小規模で）ルートを使ってはどうか。
- ・ 松くい虫や立ち枯れ、倒木の危険がある被害木の処理が必要である。
- ・ 長野県で発生している「森林組合補助金不正受給問題」は非常に残念である。来年開催の「全国植樹祭」をひかえ早急に国・県・市町村との対処が必携である。直接国有林の管理経営とは違ってもかもしれないが信州をアピールするために改革を期待する。
- ・ 今後のモニター会議の持ち方や、現地研修や見学の企画をお願いしたい。
- ・ 林野庁からの冊子でいろんなことを教えてもらい改めて敬意を表します。これからもお願いしたいしもっと多くの人にPRする必要がある。

また、木を使うことは良いことですが、大きな学校などを建てることも必要ですが個人一人一人がいろんな物を木で行う、作る、建てる、大好きになるなどの広報もお願いしたい。

- ・ 奥山にある国有林は、生物の多様性、水源かん養林として本来の森に戻し、里に近い放置された民有林を国がサポートしながら資源循環林として木材生産に力を入れてほしい。
- ・ 現在、民有林の多くの所有者は親から受けついで世代が増えて来ており、経験がなく手入れが出来ない、山がどこにあるか分からない、隣地との境界が分からない等の問題のため放置林が多く、災害発生の原因となったり、水源林を含めた山林を外国人に売却したとの話も聞く。

国土保全・水源涵養、地球温暖化防止対策に重要な役割を担う森林を健全な形で維持してゆく為に、国土全体を考慮した森林の再編が必要でないでしょうか。

国が山を手離したい所有者から買い上げ国有林として経営し、あるべき森林の維持保全に努めるとともに、若者の雇用だけでなく、高齢者（安い賃金でも働く）の再雇用の場としても地域（集落）の継続・発展に繋がらなければならないと思います。

- ・ 日本の将来を考えると、エネルギーの確保が最大の問題であると思う。日本は森林資源に恵まれていることから再生可能エネルギーの柱として森林資源の活用を国を挙げて真剣に考えていくべき時であると思う。また、国有林は国民の共有財産で、保全、保護は大切な課題ですが、活用の面で、国立公園内においてのやや硬直化した規制等もう少し柔軟性を持っていただきたい。

- ・ 現在、木材の生産量は適切かどうか。これから建築用木材の需要は増々減少して行くと思われます。戦後の森林の育成は成功と思いますが、平成の森林の育成の考え方はどうかと思います。

高成長を目指す木の研究も必要ですが低成長の長く生きる木の研究も必要ではないでしょうか。現在の人工林の20～30%はゆるやかな成長、経費のかからない木の植樹を考えたらと良いと思います。

山林の経営は木材の売上で出来る時代は無くなりました。自然は出来るだけ自然の形で作るべきだと思います。

- ・ 管理局の取組みは、全て重要なことで今後の森林育成の課題は山積であると考えます。100年後の国有林はどうであるべきか。優先順位を付けて頑張りたいと思う。

- ・ 「緑のオーナー」の入札で不落がいつまでも続くようでは？何が原因なのか素人では理解出来ません。伐採すると次の植樹まで何年、間をあげなくてはならないのですか？伐採直後に、次の計画がすぐにスタートするのですか？

- ・ イベントに参加した子どもたちや高校生の方々がどの程度興味を示し、こちらの方面の就業したのか。多くの方々が就職できているといいのですが。

- ・ 「木曾悠久の森」の取組は中部森林管理局の一つのモデルとしてこれからも進めて行って欲しい。また、積極的に情報発信や現地見学会に参加の機会をお願いしたい。また、災害から地域復興支援については、名古屋市民を対象ではなく木曾川流域上流～下流までの木曾地域支援イベントの実施が望ましいと思う。

- ・ バイオマス発電等、国産材の活用により電力不足問題の解決することをもっと公報活動すべきである。

また、シカやイノシシの被害については、シカもイノシシもおいしい立派な食材になる動物です。食べれば減るんだから、被害も減少すると思う。

木材も使えるものは積極的に使う、食べれるものはおいしく頂く。

企業にとって国有林を含め森林はもうかりそうな話満載な気がします。業種を問わず、大規模企業に森林管理局の取組を説明して回ると何か大きなビジネスにつながるかもしれませんよ。

まとめ

今回のアンケートでは、中部森林管理局の取組のうち、「森林・林業再生への貢献」の取組みに位置づけられている、「林産物の安定供給」「木材の需要拡大」「民国連携の推進」「技術開発」等について幅広いご意見をいただきました。

林産物の安定供給については、モニターになってから知られた方が多く、取組みについてはほとんどの方が評価していることが解り、国産材の安定供給についてPRが必要であること等の意見もいただきました。

また、国産材の合板（ベニヤ）への使用については、今回のアンケートではじめて知った方が一番多く、取組については評価していただけたと思います。木材のカスケード利用、国産材の使用割合が増えることは良いことであるなどの意見をいただきました。

民国連携による森林共同施業団地や森林総合監理士（フォレスター）の育成等の取組については、モニターになってから知られた方が多く、多くの方に評価していただいていることが解りました。

「具体的な人材育成が住民として感じられないのが残念である」というご意見があるように、目に見えた成果が現れるよう積極的な取り組みが期待されていることが解りました。

木材利用の木材の性質に対する印象については、「木材は適度に湿度を保つ」、「木材は、健康（生理面、心理面）に良い」、「木材は断熱性がある」との良い印象を多くの方が持っている一方で、「木材は燃えやすい」との印象を持っている方も多いことが解りました。「イメージより理化学的数値を示した方が良い。木材は燃えやすい、腐れ易いは比較対象によっては優れているからです」というご意見のとおり、数字を持って分かりやすく木材の性質を伝えていく必要があることが解りました。

木材の利用については、「増えていると思う」方が多く、学校等や個人住宅、家具等で増えていると感じておられます。今後の利用分野については、「学校や庁舎など公共建築施設」、「個人用の住宅施設」への利用に期待していることが解りました。

技術開発の取組等について多くの方がモニターになってから知った方が多く、企業との連携や海外での取組の積極的な展開などのご提案をいただきました。

平成27年度事業概要については、「計画的な森林整備の推進」「山地防災力の強化」「生物多様性の保全の推進」が関心が高く、昨年の御嶽山の火山災害、南木曾町や飛騨地域の豪雨災害等自然災害への関心が高まっている中で、国有林としても森林整備や民有林と連携した災害防止対策の取組の継続が必要であることを再確認しました。

さらに、モニターの皆様方からは、幅広く様々なご意見・要望等や、今後の森林整備に対する提案等いただくことができました。

引き続き、林野庁中部森林管理局の取組等に理解を深めていただけるような広報活動にも努めるとともに、皆様からいただいた貴重なご意見を踏まえ、業務の改善を進めて参ります。